

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
1	シミュレーションシナリオ作成(CPA)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
2	シミュレーションシナリオ作成(PEMEC)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
3	隊活動シミュレーション(脳炎・高カリウム血症)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
4	隊活動シミュレーション(急性四肢動脈閉そく症・蜂窩織炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
5	隊活動シミュレーション(糖尿病性ケトアシドーシス)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
6	隊活動シミュレーション(呼吸障害・肺水腫、アナフィラキシー)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
7	隊活動シミュレーション(壊疽性筋膜炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
8	症例作成(低体温、急性喉頭蓋炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
9	症例作成(低体温、急性喉頭蓋炎)→隊活動								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
10	症例作成(低体温、急性喉頭蓋炎)→2年生へ想定付与・フィードバック								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
11	CPA特定行為(胸痛)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
12	CPA特定行為(胸痛)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
13	隊活動シミュレーション(アナフィラキシー・髄膜炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
14	隊活動シミュレーション(食道静脈瘤破裂)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
15	CPA特定行為(呼吸困難)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACGガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
16	隊活動シミュレーション(食道静脈瘤破裂)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
17	隊活動シミュレーション(急性心筋梗塞)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
18	CPA・特定行為・自動CPR器装着(コーパルス)								セーブマン・SimMan コーパルス、ルーカス			
19	CPA・特定行為・自動CPR器装着(コーパルス)								セーブマン・SimMan コーパルス、ルーカス			
20	CPA・特定行為・自動CPR器装着(ルーカス)								セーブマン・SimMan コーパルス、ルーカス			
21	CPA・特定行為・自動CPR器装着(ルーカス)								セーブマン・SimMan コーパルス、ルーカス			
22	重傷外傷 墜落外傷								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
23	重傷外傷 腹部外傷(血気胸)・胸部外傷(腹腔内出血)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
24	重傷外傷 胸部外傷(刺創)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
25	外傷症例(腸管脱出・腹腔内出血)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
26	外傷症例(気道緊急・フレイルチェスト)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
27	隊活動シミュレーション(胸部大動脈瘤破裂、アナフィラキシーショック)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
28	隊活動シミュレーション(COPD患者の肺炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
29	隊活動シミュレーション外傷症例(骨盤骨折・フレイルチェスト)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
30	隊活動シミュレーション外傷症例(頭部外傷・脊椎損傷)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間で救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
31	隊活動シミュレーション外傷症例(緊張性気胸・コンパートメント症候群)								セーブマン・SimMan 外傷セット隊長バック			
32	CPA特定行為(ペア出動)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
33	CPA特定行為(ペア出動・自動心マッサージ器)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
34	CPA特定行為(ペア出動・自動心マッサージ器)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
35	CPA特定行為(ペア出動・自動心マッサージ器)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
36	隊活動シミュレーション(学生作成症例)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
37	隊活動シミュレーション(学生作成症例)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
38	隊活動シミュレーション(学生作成症例)③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
39	隊活動シミュレーション(学生作成症例)④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
40	隊活動シミュレーション(慢性硬膜下血腫)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
41	隊活動シミュレーション(慢性心不全)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
42	隊活動シミュレーション(偶発性低体温・胸部外傷、化学熱傷)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
43	隊活動シミュレーション(偶発性低体温・胸部外傷、化学熱傷)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
44	隊活動シミュレーション(特発性食道破裂)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
45	隊活動シミュレーション(学生作成症例)⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
46	隊活動シミュレーション(腰椎捻挫)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
47	隊活動シミュレーション(肺結核)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
48	隊活動シミュレーション(自然気胸・頸髄損傷)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
49	隊活動シミュレーション(CPA)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
50	隊活動シミュレーション(肺血栓塞栓症・中毒<トリカブト>)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
51	隊活動シミュレーション(TIA・胆石症)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
52	隊活動シミュレーション(食道静脈瘤破裂・偶発性低体温症)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
53	隊活動シミュレーション(食道静脈瘤破裂<CPA>・壊死性筋膜炎<敗血症性ショック>)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
54	隊活動シミュレーション(拒食症<低カリウム血症>・小脳梗塞)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
55	隊活動シミュレーション(交通外傷<頭部外傷・骨盤骨折>・呼吸不全<誤嚥性肺炎・COPD>)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
56	隊活動シミュレーション(交通外傷<頭部外傷・骨盤骨折>・呼吸不全<誤嚥性肺炎・COPD>)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
57	無線を使用した連携訓練								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
58	隊活動シミュレーション(OD)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
59	講義(小児のアセスメント)シナリオ作成								小児用蘇生人形 TEC、隊長バック			
60	小児外傷(腹部外傷) 実習:小児のSMRについて								小児用蘇生人形 TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
61	隊活動シミュレーション(熱中症・気管支喘息重責発作)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
62	隊活動シミュレーション(急性心筋梗塞 虚血性大腸炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
63	隊活動シミュレーション(敗血症性ショック・周産期心筋症)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
64	隊活動シミュレーション(大腸憩室炎腹膜炎・低血糖痙攣)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
65	隊活動シミュレーション(肝硬変静脈瘤破裂・髄膜炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
66	隊活動シミュレーション(食中毒・外傷CPA)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
67	隊活動シミュレーション(食中毒・外傷CPA)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
68	隊活動シミュレーション(細菌性髄膜炎、酪酐)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
69	症例作成・発熱(インフルエンザ)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
70	隊活動シミュレーション(意識障害＜橋出血＞・消化管異物＜ボタン電池＞)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
71	隊活動シミュレーション(腰痛＜腹部動脈瘤破裂＞・意識障害＜無痛性AMI＞)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
72	隊活動シミュレーション(コロナ、WPW症候群)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
73	隊活動シミュレーション(上腸間膜閉塞症)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
74	隊活動シミュレーション(熱中症脱水、交通外傷腹腔内出血)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
75	隊活動シミュレーション(転落骨盤骨折、胸痛心タンポ)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACGガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
76	隊活動シミュレーション(大動脈解離)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
77	隊活動シミュレーション(胃潰瘍、副腎クリーゼ)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
78	隊活動シミュレーション(胆管炎敗血症、大動脈解離TypeA脳梗塞)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
79	隊活動シミュレーション(急性アルコール中毒脱水、蜂窩織炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
80	隊活動シミュレーション(復習)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
81	隊活動シミュレーション(復習)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
82	隊活動シミュレーション(復習)③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
83	隊活動シミュレーション(復習)④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
84	隊活動シミュレーション(復習)⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
85	隊活動シミュレーション(流行性耳下腺炎・くも膜下出血)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
86	隊活動シミュレーション(心不全・腹膜炎)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
87	隊活動シミュレーション(洞性徐脈、低血糖発作)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
88	隊活動シミュレーション(洞性徐脈、低血糖発作)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
89	隊活動シミュレーション(AMI)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
90	隊活動シミュレーション(小児外傷:虐待・COPD増悪)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	v	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間で救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容									準備物(教材)		
91	隊活動シミュレーション(気道異物・脊椎完狹窄症)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
92	隊活動シミュレーション(ギランバレー症候群、緊張性気胸)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
93	隊活動シミュレーション(喘息発作)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
94	隊活動シミュレーション(心タンポナーデ、褥瘡による敗血症)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
95	隊活動シミュレーション(髄膜炎＜乳児＞、低血糖)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
96	隊活動シミュレーション(上腸間膜動脈症候群、新型コロナウイルス感染症)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
97	隊活動シミュレーション(腹痛:アニサキス・意識障害:糖尿病性腎症＋尿毒症)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
98	隊活動シミュレーション(下肢疼痛腫脹＋胸痛:心筋梗塞・)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
99	隊活動シミュレーション(腎不全:肺水腫・喀血:食道破裂＋血気胸)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
100	隊活動シミュレーション(意識障害→脳梗塞再梗塞)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
101	隊活動シミュレーション(学生作成症例)⑥									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
102	隊活動シミュレーション(尿毒症)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
103	隊活動シミュレーション(OD)									セーブマン・SimMan TEC、隊長バック		
104	BLS講習									セーブマン AEDトレーナー		
105	BLS講習									セーブマン AEDトレーナー		
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、大塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
106	隊活動シミュレーション（AMI：右冠動脈起始部・アナフィラキシーショック）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
107	隊活動シミュレーション（意識障害：急性硬膜外血腫・意識障害：脳卒中）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
108	隊活動シミュレーション（敗血症性ショック・心内膜炎）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
109	隊活動シミュレーション（偶発性低体温・墜落外傷）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
110	PMEC隊活動（めまい・ふらつき）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
111	PMEC隊活動（胸痛）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
112	PMEC隊活動（頭痛）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
113	PMEC隊活動（しびれ麻痺）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
114	PMEC隊活動（めまい・ふらつき）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
115	PMEC隊活動（腰痛）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
116	PMEC隊活動（呼吸困難：自然気胸）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
117	PMEC隊活動（呼吸困難：急性喉頭蓋炎）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
118	PMEC活動（動悸）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
119	PMEC隊活動（頭痛）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
120	PMEC隊活動（下痢）										セーブマン・SimMan TEC、隊長バック	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚波、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
121	PMEC隊活動(悪心・嘔吐)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
122	PMEC隊活動(痙攣／背部痛)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
123	PMEC隊活動(咯血・吐血)								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
124	PMEC隊活動(胸痛)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
125	PMEC隊活動(胸痛)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
126	PMEC隊活動(胸痛)③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
127	PMEC隊活動(意識障害:熱中症・呼吸困難COPD)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
128	PMEC隊活動(意識障害:熱中症・呼吸困難COPD)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
129	PMEC隊活動(意識障害:熱中症・呼吸困難COPD)③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
130	PMEC隊活動(意識障害:熱中症・呼吸困難COPD)④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
131	PMEC隊活動(意識障害:熱中症・呼吸困難COPD)⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
132	PMEC隊活動(めまいふらつき:アダムス・ストークス・胸痛:急性心筋梗塞)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
133	PMEC隊活動(めまいふらつき:アダムス・ストークス・胸痛:急性心筋梗塞)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
134	PMEC隊活動(めまいふらつき:アダムス・ストークス・胸痛:急性心筋梗塞)③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
135	PMEC隊活動(めまいふらつき:アダムス・ストークス・胸痛:急性心筋梗塞)④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、大塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
136	PMEC隊活動(めまいふらつき：アダムス・ストークス・胸痛：急性心筋梗塞)⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
137	PMEC隊活動(意識障害：低ナトリウム血症)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
138	PMEC隊活動(意識障害：低ナトリウム血症)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
139	PMEC隊活動(腰背部痛：腎盂腎炎・腹痛：重症急性膵炎)①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
140	PMEC隊活動(腰背部痛：腎盂腎炎・腹痛：重症急性膵炎)②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
141	PMEC隊活動(腰背部痛：腎盂腎炎・腹痛：重症急性膵炎)③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
142	PMEC隊活動(腰背部痛：腎盂腎炎・腹痛：重症急性膵炎)④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
143	PMEC隊活動(腰背部痛：腎盂腎炎・腹痛：重症急性膵炎)⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
144	PMEC隊活動（総合）①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
145	PMEC隊活動（総合）②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
146	PMEC隊活動（総合）③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
147	PMEC隊活動（総合）④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
148	PMEC隊活動（総合）⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
149	PMEC隊活動（総合）⑥								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
150	PMEC隊活動（総合）⑦								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
151	PMEC隊活動（総合）⑧								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
152	PMEC隊活動（総合）⑨								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
153	PMEC隊活動（総合）⑩								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
154	内因性想定隊活動総合シミュレーション①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
155	内因性想定隊活動総合シミュレーション②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
156	内因性想定隊活動総合シミュレーション③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
157	内因性想定隊活動総合シミュレーション④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
158	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
159	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑥								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
160	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑦								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
161	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑧								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
162	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑨								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
163	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑩								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
164	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑪								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
165	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑫								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACGガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚波、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
166	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑬								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
167	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑭								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
168	内因性想定隊活動総合シミュレーション⑮								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
169	外因性想定隊活動総合シミュレーション①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
170	外因性想定隊活動総合シミュレーション②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
171	外因性想定隊活動総合シミュレーション③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
172	外因性想定隊活動総合シミュレーション④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
173	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
174	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑥								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
175	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑦								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
176	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑧								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
177	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑨								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
178	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑩								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
179	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑪								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
180	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑫								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACCガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚渡、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
181	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑬								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
182	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑭								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
183	外因性想定隊活動総合シミュレーション⑮								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
184	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
185	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
186	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション③								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
187	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション④								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
188	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑤								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
189	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑥								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
190	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑦								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
191	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑧								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
192	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑨								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
193	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑩								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
194	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑪								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
195	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑫								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACGガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅲ					授業の種類	実習	講師名	坪田裕司、犬塚凌、中澤寛之			
授業回数	203	回	時間数	405	時間	9	単位	必修・選択	必修	配当学年/時期	3	通年
【授業の目的・ねらい】 救急救命士として現場で即応できる総合的判断の確立、隊活動におけるコミュニケーション能力の強化、高度な救急救命処置の手技の定着など3年間の集大成を想定訓練を通して身に付けることを目的・ねらいとする。												
【実務者経験】 消防機関に入職後約39年間に救急隊として従事し、その後3年は医療機関にて救急部およびドクターカーの運用等に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 総合的な内容として、外因性および内因性のプレホスピタル標準化コースを実施し、その内容を習得する。また総合的な想定訓練を実施し、国家試験対策にもその内容をつなげていくこととする。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 3年時においても学生自身が根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。また傷病者やその家族、関係者およびチームからの信頼を得れるコミュニケーション力を確立させる。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
196	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑬								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
197	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑭								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
198	内因性・外因性想定隊活動総合シミュレーション⑮								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
199	総復習：手技確認（各手技確認）①								気道確保セット 静脈路確保セット			
200	総復習：手技確認（各手技確認）②								気道確保セット 静脈路確保セット			
201	総復習：手技確認（BLS確認）①								セーブマン AEDトレーナー			
202	総復習：手技確認（BLS確認）②								セーブマン AEDトレーナー			
203	総復習：隊活動①								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
204	総復習：隊活動②								セーブマン・SimMan TEC、隊長バック			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル JPTECガイドブック、PEMECガイドブック、PACGガイドブック												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												